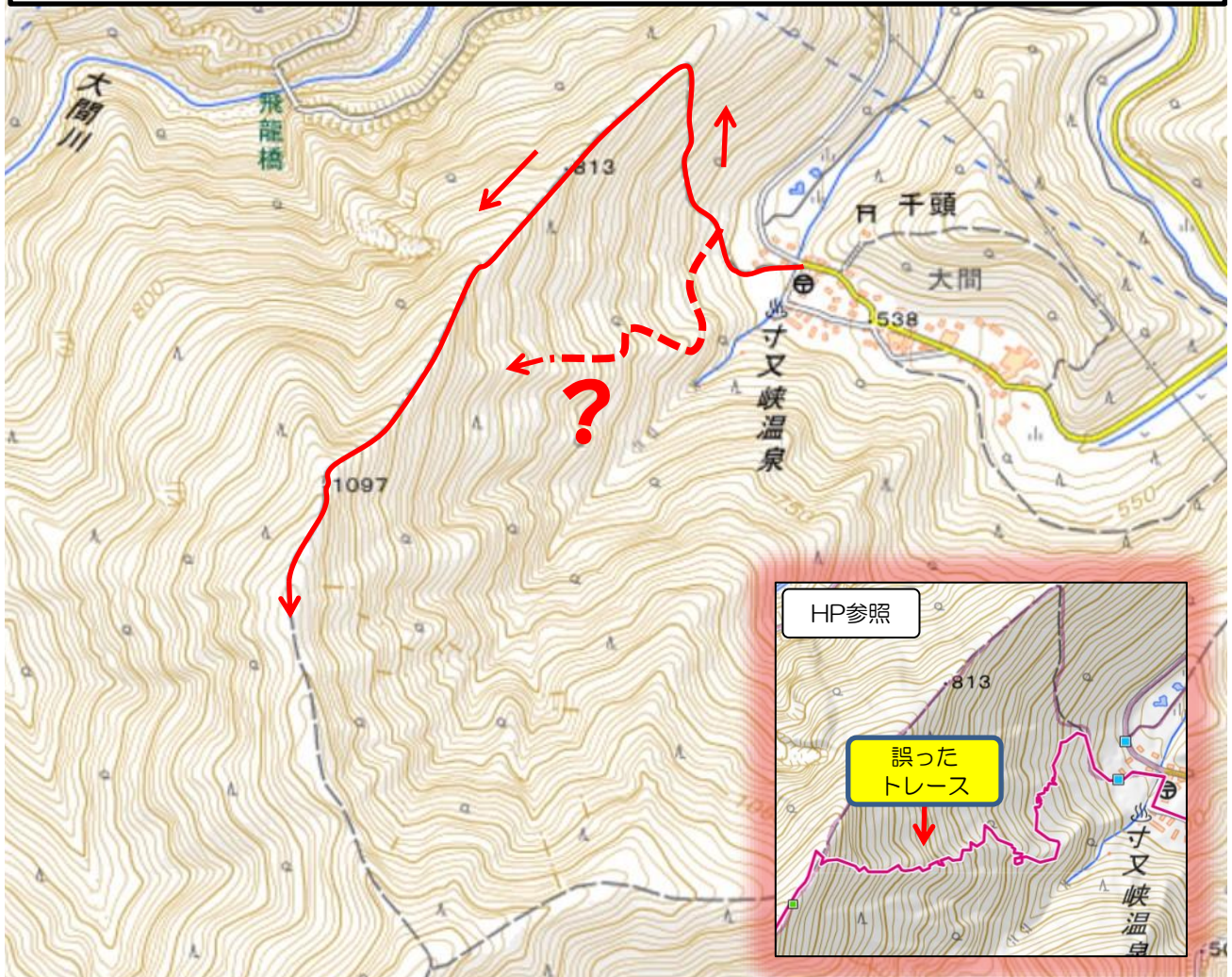


沢口山道迷い(2014年5月)

単独。ピンクリボンを頼りに登山するも途中でリボンが無くなる。地図アプリで現在位置を確認するが戻るにも急斜面で滑落しそう。尾根を目指し直登して正規ルートにたどり着いた。



解説

登山口案内や、登山口からしばらくは道標やピンクリボンが「これでもか！」ってほどついており、これなら地図なしでも遭難の心配なし！なんて思っていたのが間違いです。ピンクリボンを追って歩いたんですが、気がつくとリボンがない！踏み跡もない！周囲を見渡しても、自分の足跡も消えている！急登で一步進むと5歩ぐらいザレて谷に向かう。汗！汗！焦！

ここでやっと地図とGPSを取り出す。軌跡をたどって戻ろうにも、滑落しそう。GPSを頼りに直登するルートを選び、尾根！尾根！尾根を目指してなんとか、正規ルートと合流。(以上HP参照)

赤テープを頼りに登山することは、普通にある。しかし、赤テープを頼りに歩いているということは、「地図の先読みをしているといえるのだろうか？」。

例えば、「寸又峡温泉から主尾根に乗る(歩く)までは、ほぼ北に進む。」という予測をたてるのが先読みである。地図の先読みと現地確認が一致したときの喜びは何とも言えないものがある。

一人でも多くの方が地図を見ることが楽しいと言ってもらえるように地図に関する情報発信をしていきたい。